

# 衆議院国土交通委員会ニュース

平成 20.6.11 第 169 回国会第 24 号

6月11日、第24回の委員会が開かれました。

## 1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・冬柴国土交通大臣、平井国土交通副大臣、保坂文部科学大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

### 細野 豪 志君(民主)

- ・公益法人とファミリー企業とは民・民関係なのでお金の流れが明らかにされていない。しかし、公益法人は、役員が天下りで、かつ税金でほぼ成り立っており、独立行政法人とほぼ変わらない。公益法人とファミリー企業、特に(財)道路技術保全センターと支出先との関係について明らかにすべきと思うが、どうか。
- ・新人材バンクの創設により、既存の公益法人、今後新設される公益法人を問わず、天下りを排除できる仕組みになるのか。

### 逢坂 誠 二君(民主)

- ・請負契約と労働契約は、一般論として同一人に対して同時に存在しうるのか。
- ・タクシーの名義貸しらしきものが横行しており、会社員としての雇用契約と事業主としての請負契約が同居しているような場合があると聞いている。このような場合、課税、社会保険、労働保険はどのように扱われるのか。
- ・訪日外国人旅行者の増大の観点から、外国人向けのカーナビシステムの開発などにより外国人旅行者のレンタカー利用を促進する必要があると思うが、いかがか。

### 小宮山 泰 子君(民主)

- ・道路の中期計画の前提となる将来交通需要推計について「秋ごろまでにまとめる」とされているが、中期計画の見直し作業について今後どうするのか。
- ・下水道については、老朽化が進んでおり、新規建設だけでなく補修・更新も重要だが、どのような目標を定め、どれだけ行っていかうと考えているのか。

### 松原 仁君(民主)

- ・羽田空港D滑走路建設工事の環境アセスメントはどの程度の期間実施されたのか。また、期間の設定はどのよう

に決まったのか。

- ・社団法人日本埋立浚渫協会の役員に、国土交通省から天下りした者が何人いるか。
- ・羽田空港D滑走路建設工事に関し、設計・施工一括発注方式の妥当性については、どのように判断しているのか。

### 穀田 恵 二君(共産)

- ・近畿地方整備局は淀川水系流域委員会の審議を打ち切ることを示唆したとの報道があるが、審議打ち切りは妥当ではない。同委員会を尊重すべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・大戸川ダムの建設目的を多目的から治水単独に変更したが、治水における費用対効果を考えて建設を判断しているのか。治水専用ダムとすることによって地元負担は変わるのか。

### 川内 博 史君(民主)

- ・関東地方整備局におけるタクシー利用問題に関して、職員が使用したタクシーチケットに、同整備局作成の「タクシー利用等取扱要領」に定める利用時間が記載されていないのは、同要領違反ではないのか。また、内部規則に違反するのは処分の対象となるのか。
- ・平成15年から19年の間に車両管理業務委託を行った国道事務所等の数と、各事務所において前年と委託先の会社が変わった事務所の数とはどのようになっているか。
- ・費用便益分析マニュアル改定の検討状況と今後の見通しはいかがか。

### 後藤 齋君(民主)

- ・住宅や公共建築物の耐震化率を9割に引き上げるためには、総額でどのくらいの改修費用が必要になるか。またその費用に対し、国税の投入額はどのくらいになるのか。
- ・公立の小・中学校の耐震化に関して、文部科学省は現状をどのように認識しているのか。また、耐震化に要する

費用と国税の投入額はどのくらいになるのか。  
・建設業界においては、公共事業などの減少に比べ建設業者数はほとんど減っていない供給過剰状態にあると認識

しているが、特に地方の中小建設業者を今後どのように育成・発展させていくのか。

2 長期優良住宅の普及の促進に関する法律案（内閣提出第 44 号）

・冬柴国土交通大臣から提案理由の説明を聴取しました。